

魔法少女敗北日記





最近魔法少女になった私
魔獣からみんなを守る為に日々頑張ってます

正直戦うのは凄く怖いし



魔獣も段々と強くなってる気がしてこの先不安で一杯です



でもやらなきゃみんなが
危ないし今日もがんばるぞっ！



大丈夫今までだって
難なく倒してきたじゃない！

今度もきつと大丈夫！



ニニら辺から魔獣の
気配を感じる...



んっ？





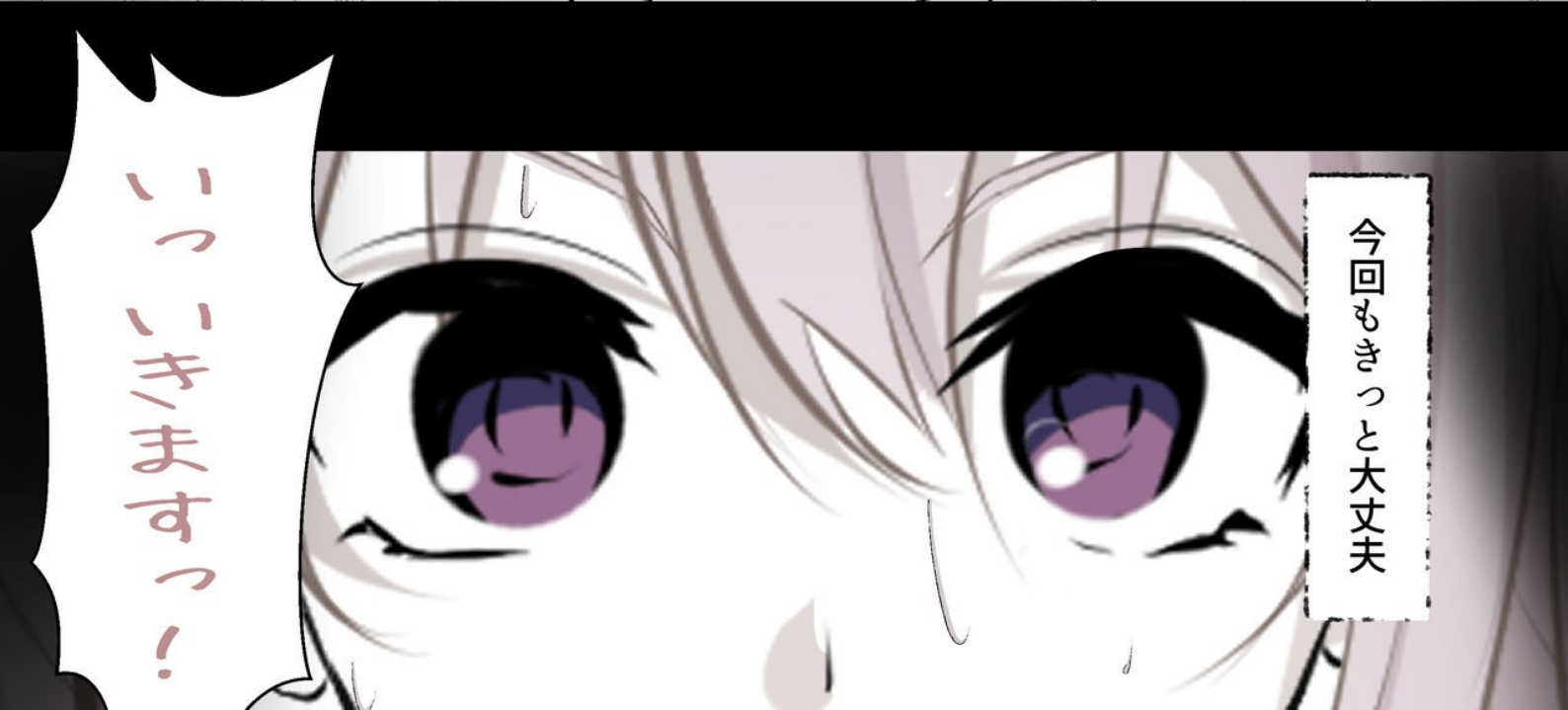


だっ大丈夫

ぎゅっ

今までの魔獣も怖そうな見た目して
いたけど意外と大した事なかったし

バァッ



今回もきつと大丈夫

いっ
いきますっ！

数分後

あ、お
あ、あ
が

ダメでした

全くと言って
いい程手が出せず

おっ
おわ

現状出来ることと言えば
絞められている苦しみから

少しでも逃れようと必死に
もがく事ぐらいでした

ぐっ
ぐるしっ

21

ダ

バタ

そんな状態で更に追い打ちを
かけるように殴られ



完全に戦意を喪失した私はこれから
どうなるんだろうという不安で頭が一杯でした

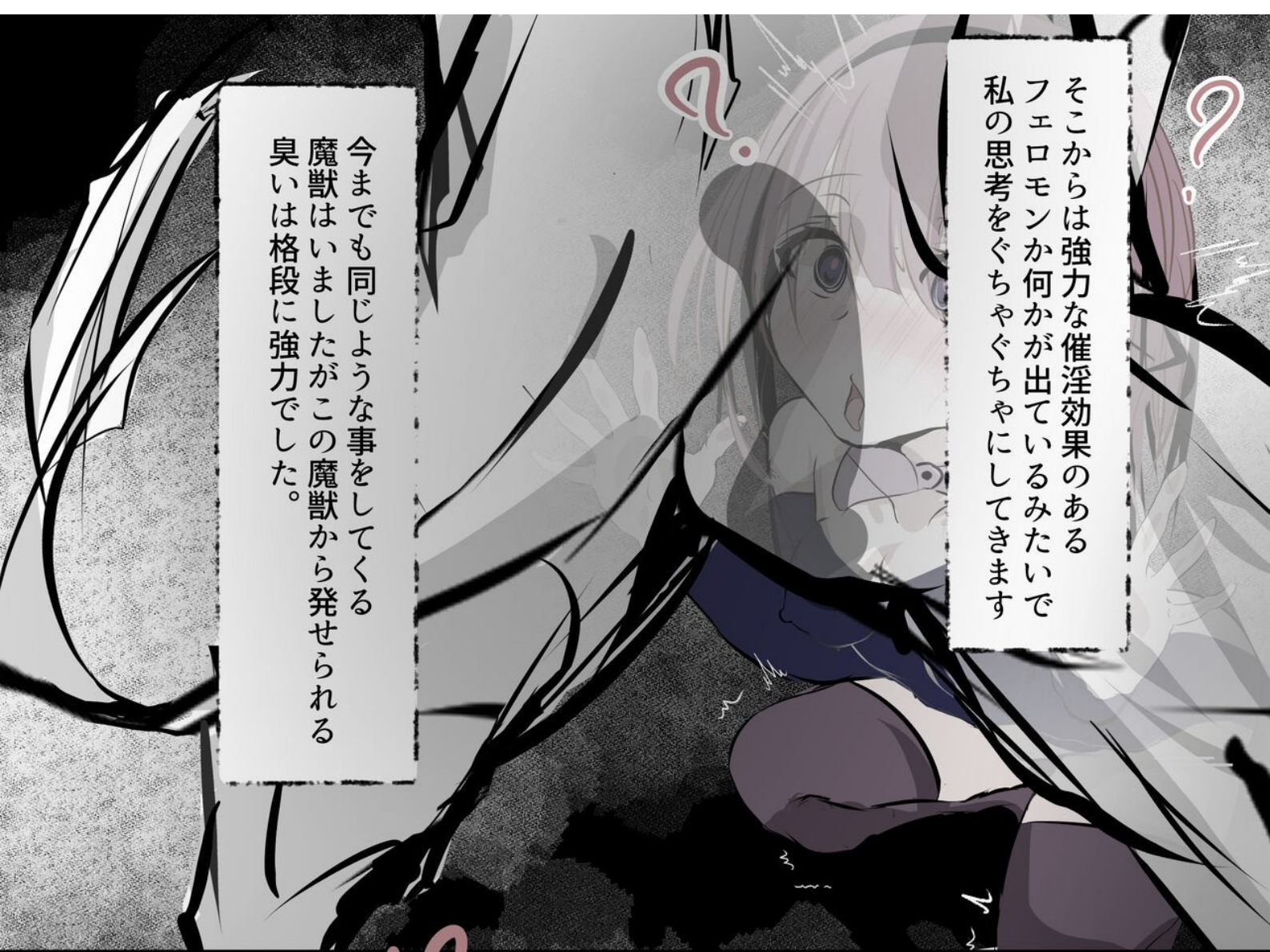


そんな私の姿に魔獣はニタニタと
笑いながら頭を乱暴に掴み



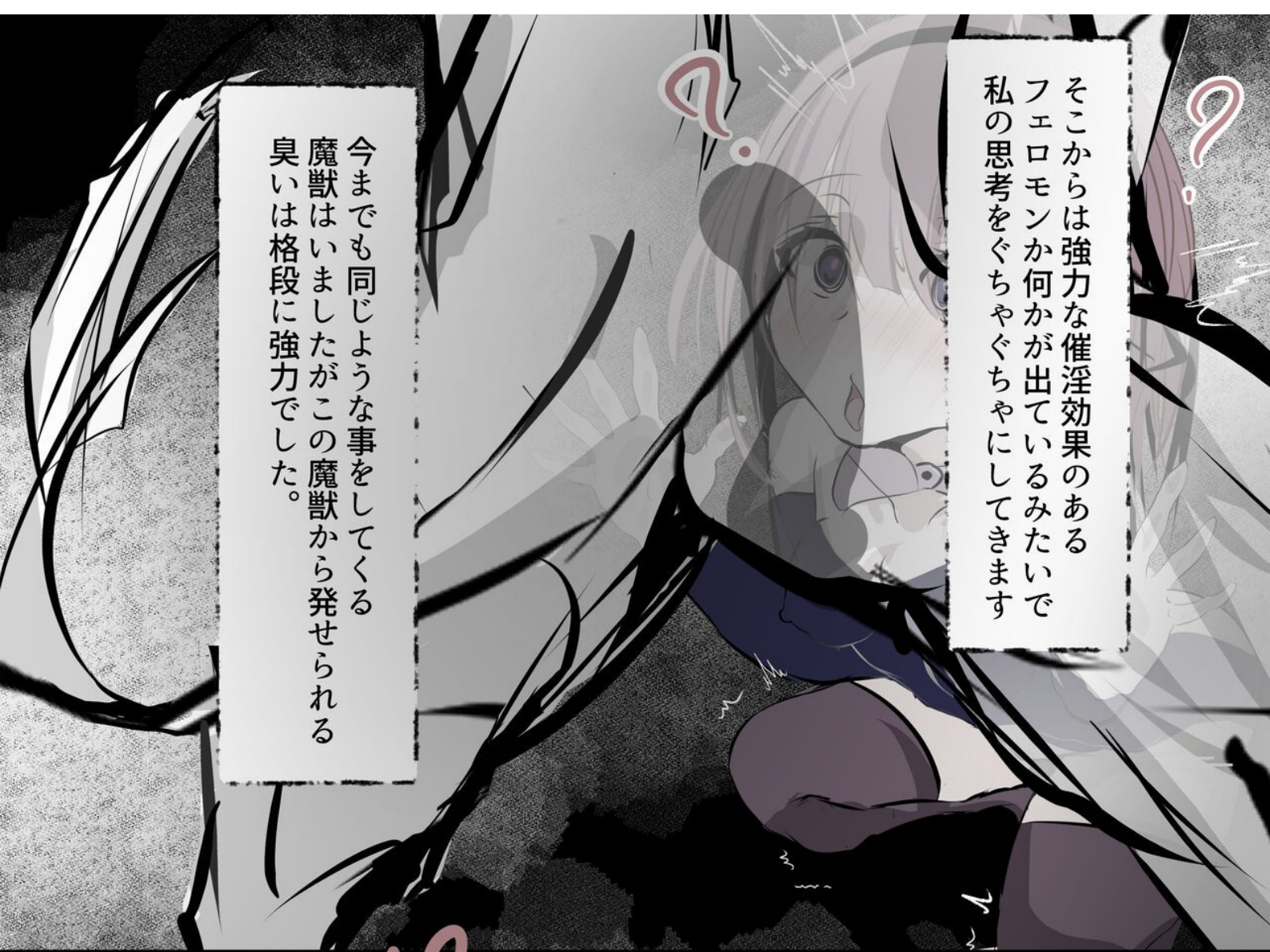
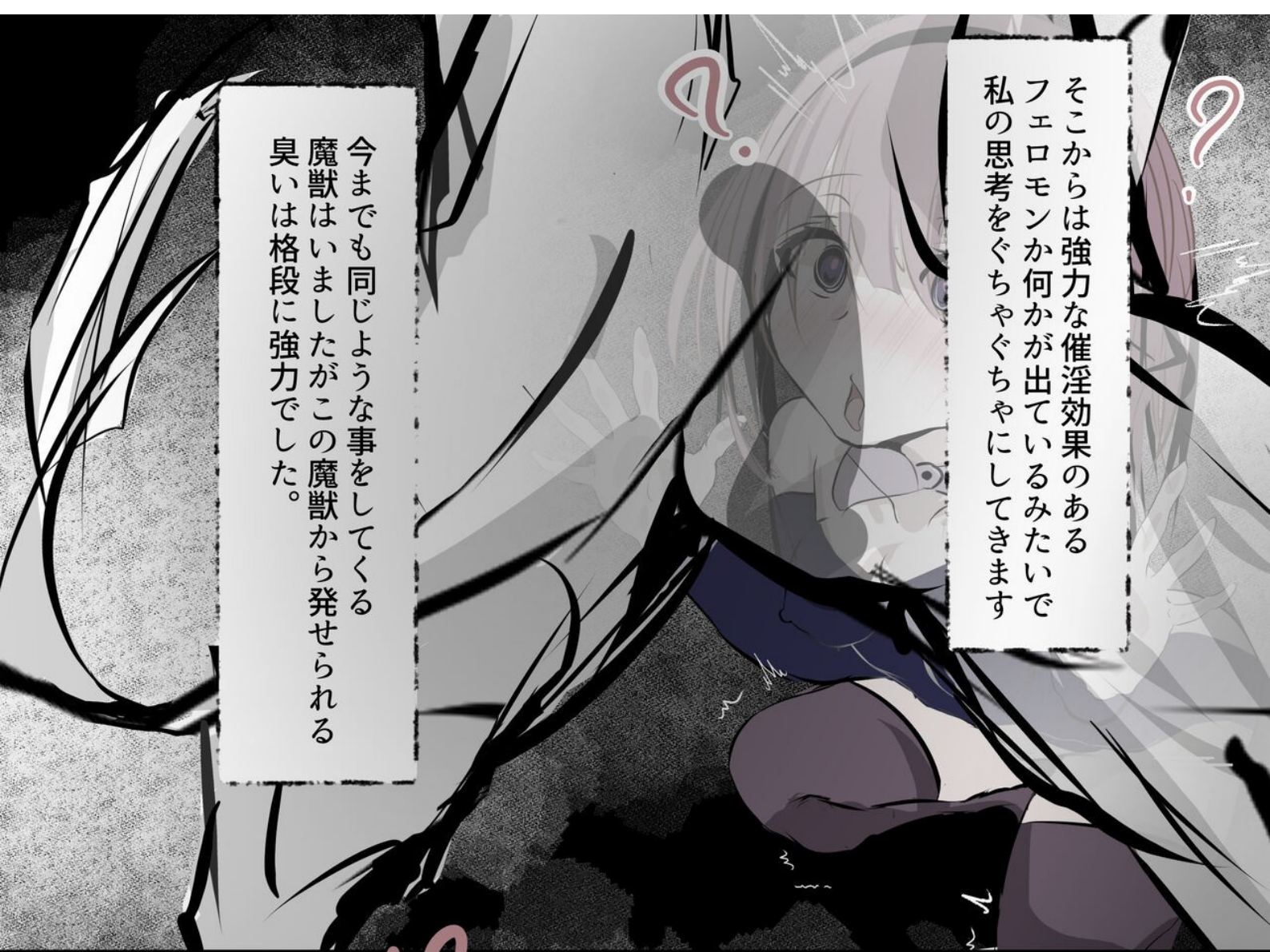
そのまま自分の性器へと頭を押し付けてきました



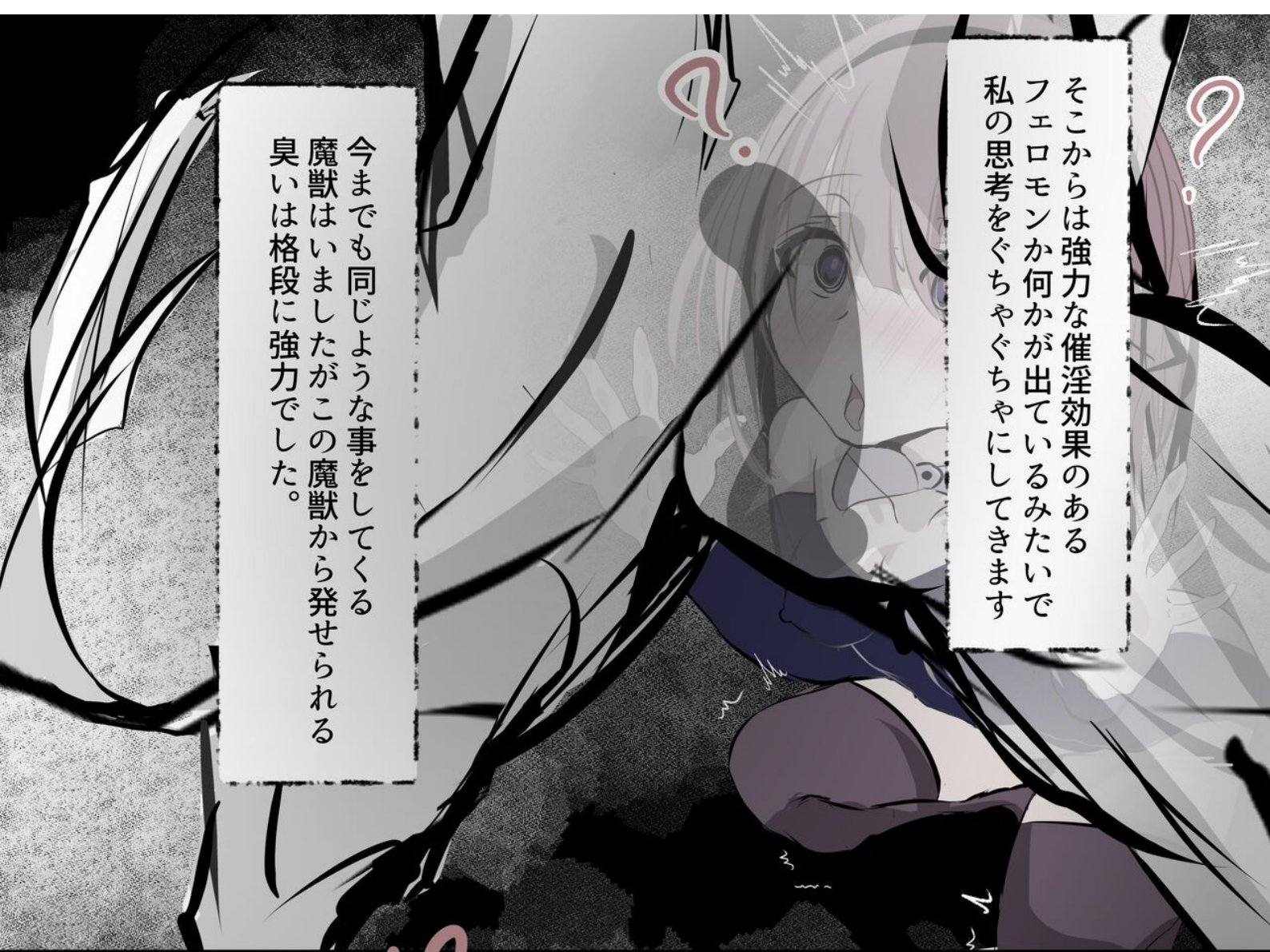
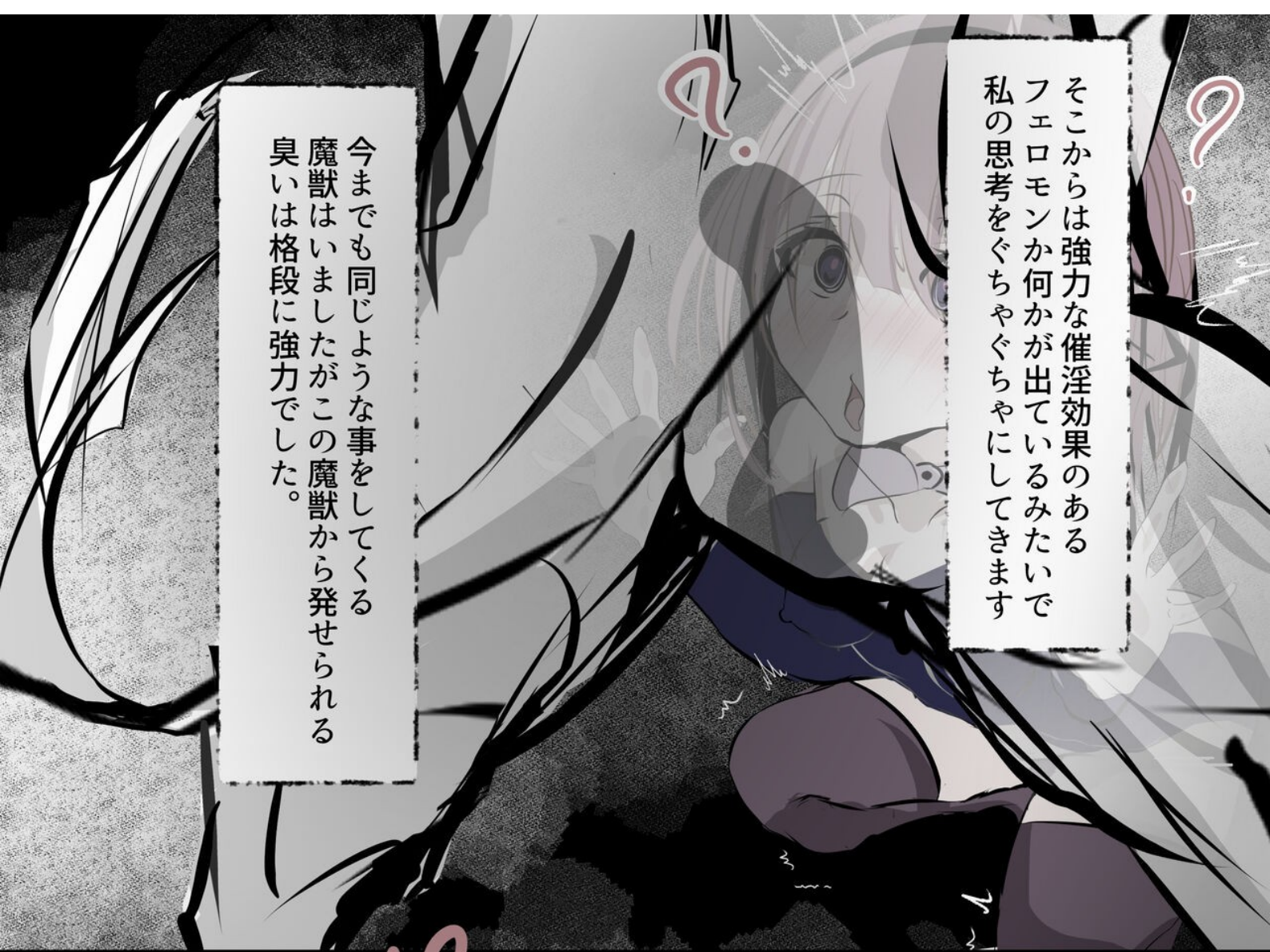


そこからは強力な催淫効果のある
フェロモンか何かが出ているみたいで
私の思考をぐちゃぐちゃにしてくれます

今までと同じような事をしてくる
魔獣はいましたがこの魔獣から発せられる
臭いは格段に強力でした。



私はすぐにいけない気持ちになっちゃいま
こんな状況にもかかわらずあそこからは
絶え間なくえつちなお汁が溢れてきます



そして同時にこんな
考えが頭に浮かびました

舐めたい

あの先から垂れている
液をすすりたい

臭いだけでも凄いのはその元である物を
舐めたらどうなってしまうんだろうという期待

絶対にしてはいけないはずの行為

ですが既に催淫効果で正常な思考など働くわけもなく
行動に移すのに時間など掛かりませんでした



一度それを口に含んだらもう止まらず
先から溢れてくる淫液を
更に絞りだそうとひたすら啜り

氣づけば狂つたように
魔獣のおちんちんをしやぶつていました

[illegible]

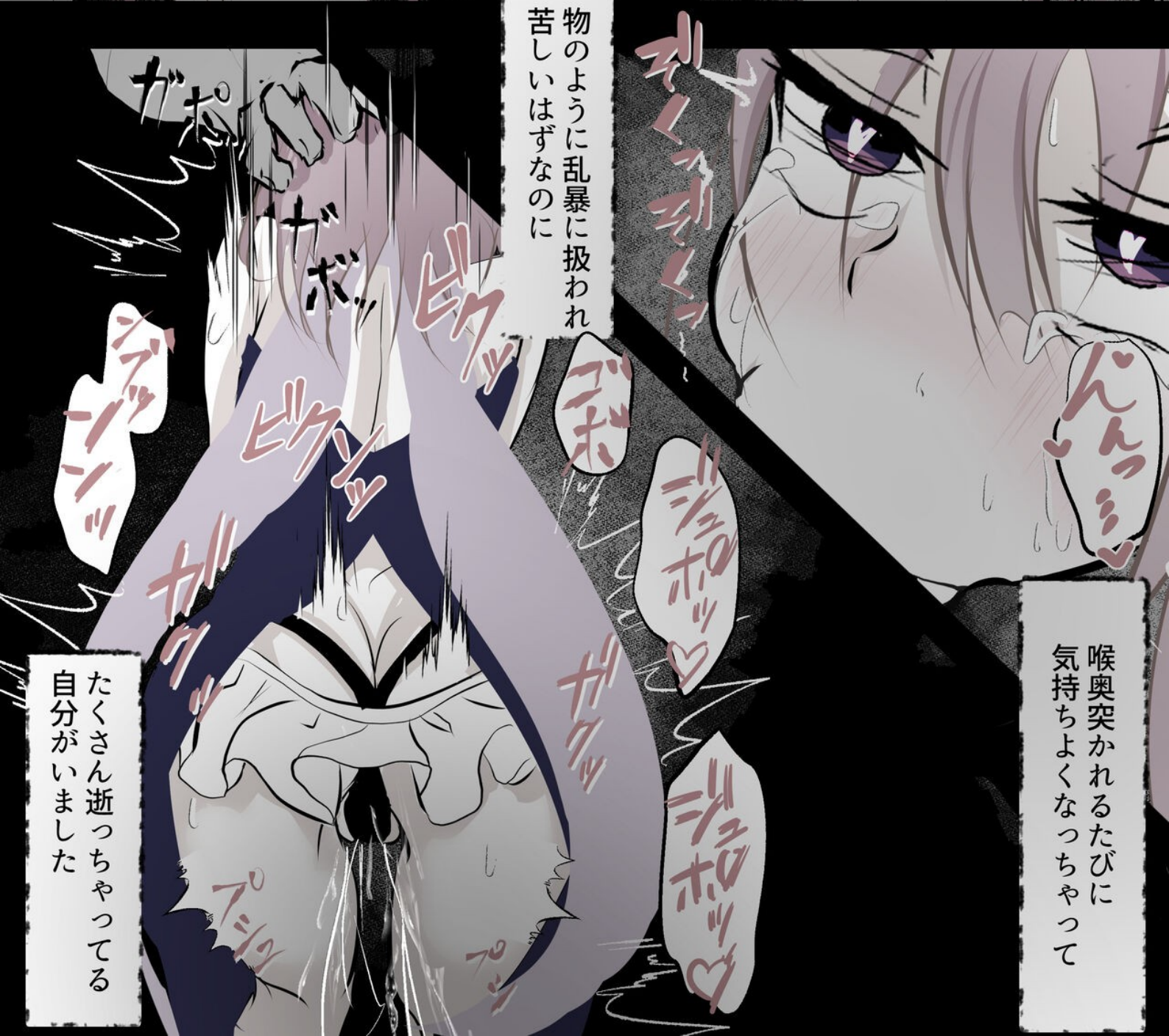
ちゅるっ♡

54

5430 ♡

おはよう





物のように乱暴に扱われ
苦しいはずなのに

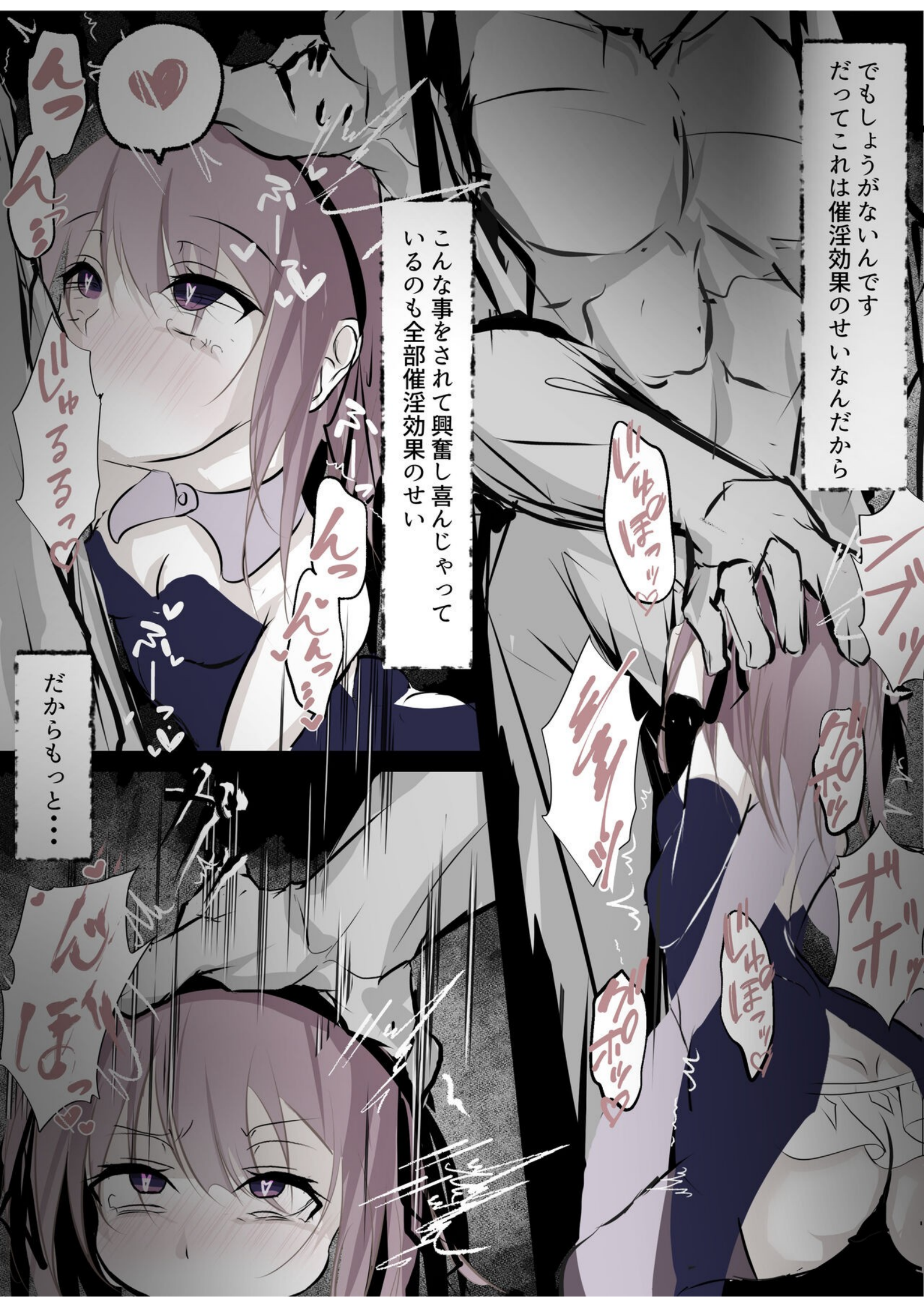
喉奥突かれるたびに
気持ちよくなっちゃって

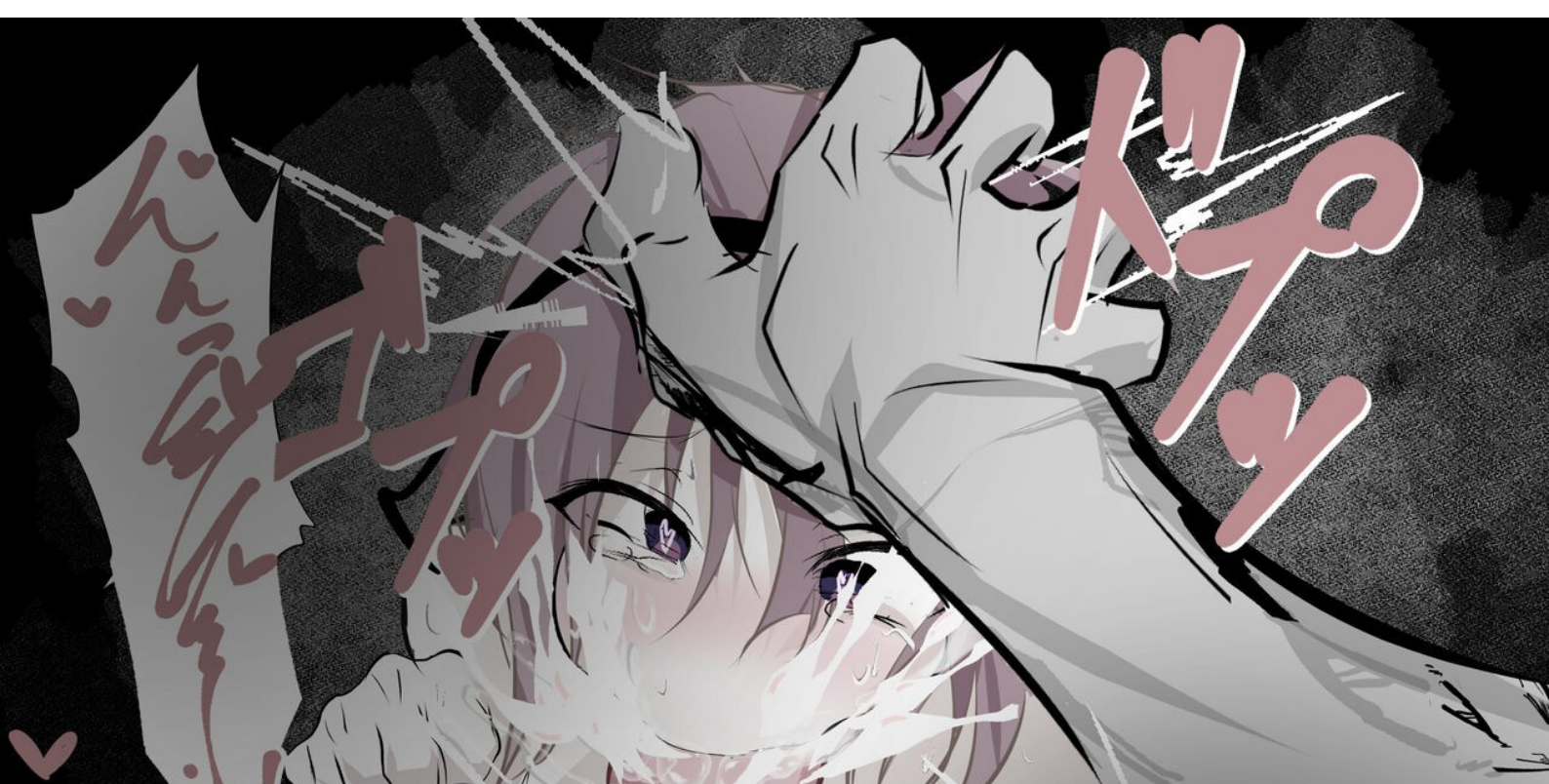
たくさん逝っちゃってる
自分がいました

でもしょうがないんです
だってこれは催淫効果のせいなんだから

こんな事をされて興奮し喜んじゃって
いるのも全部催淫効果のせい

だからもつと...







もうこれを挿れてもらうしか

どうしようっ余計に身体の疼きが
酷くなっちゃっている♡

おっ

おねがいします

ニ、ニっちも

ニっちも使ってください

はぁ♡

はっ♡

はっ♡

魔獣の体液を飲んだせいで完全に
スイッチが入ってしまった私は

言葉が通じるかも分からない相手に向かって
気づけば必死におねだりをしていた

はぁ♡



ちゅ

♡

きたっ

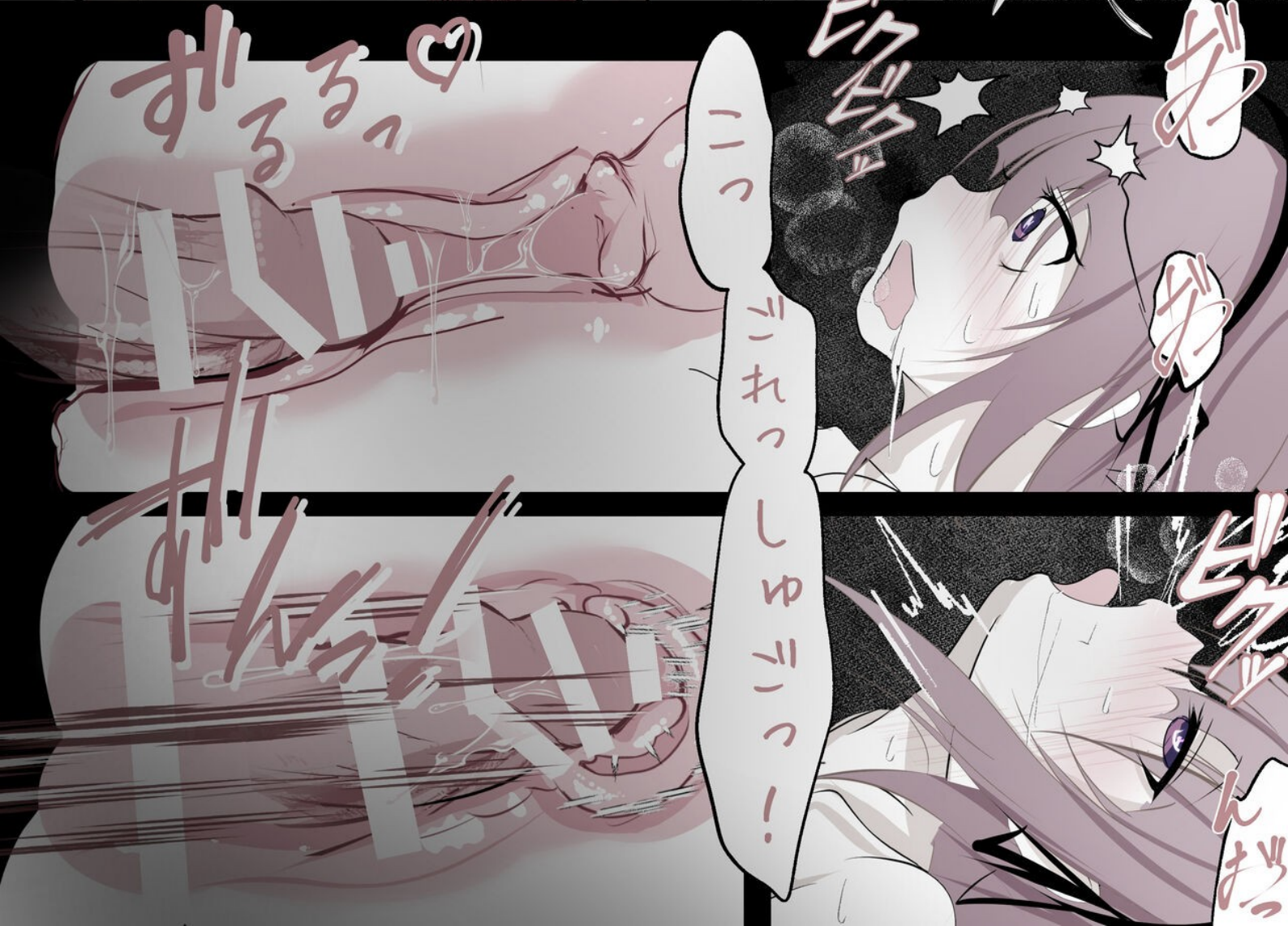
はあ

きたっ

魔獣のおちんぽ
はいってくるっ!!

おふふ

はあ
はあ







当然一度の射精なんかで
収まるわけもなく

休む間もなく暴力的なセックスは一晩中続いた

あれから他の魔法少女に助けられ
助かったものの強力な催淫効果は

今も身体に残ってしまい

あの日犯された事を思い出しては
一日中オナニーする日々

もう一人で満足する事が
出来ない身体になってしまった私は
ある事を思いついた

こんな状態で
まともに戦うなんて……

それは……



